

KSK

すたこらさん

わか にかいめ はる こんかい の き
コロナで迎えた二回目の春 今回も乗り切ろう!!

はるごう
2021春号



一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月五回(5・10・15・20・25日)発行

ぜんかい屋新メンバー紹介 ③

柿本 等さん

笑顔が優しい、ゆったりした、いっしょにいると癒さ

れる雰囲気(ふんいき)の柿本(かきもと)さん。昨年(さくねん)11月(がつ)に出会(であ)ってから、もう半年(はんねん)経(た)ちました。現在(げんざい)、毎週(まいしゅう)火曜日(かようび)に来(こ)られ、将棋部(しょうぎぶ)ではひらめき(はやぎ)の早指(せ)しの攻め(せ)のスタイル(スタイル)で、部長(ぶちやう)の村上(むらかみ)さんと最強(さいきやう)の高長(たかなが)さん相手(あいて)に勝(か)ったり負(ま)けたり(熱戦(ねっせん)を繰(く)り広(ひろ)げられています！

Q 何年(なんねん)生まれ(ま)れで、出身(しゅっしん)はどこ(どこ)らですか(ですか)？

柿本(かきもと) 昭和(しやうわ)40年(ねん)12月(がつ)28日(にち)生まれ(ま)れ、神戸(こうべ)出身(しゅっしん)です。

Q どん(どん)な子供(こども)時代(じだい)を過(す)ごされました(ました)？

柿本(かきもと) やんち(やんち)やで近所(きんじよ)の悪ガキ(わる)にもま(ま)れて元氣(げんき)だけ(だけ)は元氣(げんき)でした(ました)。勉強(べんきやう)はでき(でき)ないけど(けど)、じいちゃん(じいちゃん)に鍛(きた)えられて将棋(しょうぎ)は5歳(さい)から始(は)め、その後(ご)後、将棋教室(しょうぎきやうしつ)にも小5(しょうご)から通(かよ)ってました(ました)。

その後(ご)後、いい先生(せんせい)に巡(めぐ)り合(あ)えて、マンツーマン(マンツーマン)でスポー(スポー)ツも勉強(べんきやう)も伸(の)ばして(して)もら(もら)って、中(ちゆう)学校(がっこう)では剣道(けんどう)・水泳(すいえい)・野(や)球(きゆう)とスポー(スポー)ツ万(ばん)能(のう)で勉強(べんきやう)も頑(がん)張(ば)って(って)ました(ました)。野(や)球(きゆう)部(ぶ)ではエ(エ)スでキャ(キャ)プテン(テン)、近畿(きんき)大会(たい)にも出(しゅっ)場(じやう)しました(ました)。けっ(けっ)こ(こ)うみんな(みんな)に人望(じんぼう)が(が)あ(あ)って、推(すい)薦(せん)さ(さ)れて生(せい)徒(と)会(かい)長(ちやう)も任(ま)か(か)され(され)まし(まし)た(た)。

Q す(す)ご(ご)い(い)です(す)ね(ね)！その(その)後(ご)は(は)どう(どう)な(な)った(た)ん(ん)です(す)か(か)？

柿本(かきもと) 進(しん)学(がく)は(は)家(いえ)の事(じ)情(じやう)が(が)あ(あ)って(って)あ(あ)き(き)ら(ら)め(め)て、板前(いたまえ)の修業(しゆぎやう)で

お寿司を握ったりしましたが、長続きはしなくて、建設業の職人の見習いを3〜4年間、20歳くらいまでしました。その後、接客や営業の仕事をし、神戸北野の異人館の喫茶店で副店長にまでなりました。

24歳で大阪に出てきて、郵便局の近畿管内のエリアでのトラック運送の仕事を29歳までしました。その後、勤めていた派遣会社でのトラック運送の交通事故で32歳の時に脊椎を痛めてしまいました。しばらくは寝たきりでしたが、リハビリで何とか回復し、歩けるようにまですなっただんです！

Q 大変でしたね…。でも、よく回復されましたね…。人生において大切にしていることは何ですか？

ハングリー精神、負けないぞ！なんでもチャレンジする

ぞ！前向き思考で、できるだけ楽しんで人生を歩みたいと思っています！

Q すごい！良いですね！ところで、ぜんかい屋の印象はどんなですか？

柿本 ぜんかい屋に来てリラックスできてます。嬉しくて面白いところです。ぜんかい屋の人たちはハワイアンみたい！のんびりしていて、神経を使わず、楽しく過ごせています。前日になったら遠足の前の日のような感じで、週一回の楽しみになっています。将棋も村上さん、高長さんらに対局してもらって楽しくてうれしいですね。

Q そう言っていたら、僕たちも嬉しいですね！これからもよろしくお願い致します。いろいろチャレンジしたり楽しんでください。



たかなが ひろあき
高長 弘晃さん

かきもと ひとし
柿本 等さん

ぜんかい屋新メンバー紹介 ④

☆ 高長 弘晃さん ☆

良返屋のみなさん、初めまして。

ぜんかい屋みなさん、こんにちは&初めまして。

私は今年の1月ぜんかい屋に新しく入所しました、高

長 弘晃(タカナガ ヒロアキ)と申すものでございます。

私がぜんかい屋を知ったきっかけは、ここの入所利用者

である村上晃さんの紹介です。私と村上さんは小学1

年生から高校3年生までの12年間、同じ学校の同級生で

した。その後は私が就職したことにより、年賀状のやり

取りぐらいで同窓会も開催せずじまいだったように思いま

す。久しぶりに見る村上さんは当時よりふっくらして元氣

そうに見えましたね。実に43年ぶりですもの・・・

学校を卒業した私が、阪神百貨店に就職できたのは

私の父親が熱心に活動してくれたおかげだと思っていま

す。その父も33年前に他界。今は母親と二人で暮らして

います。

その阪神百貨店では主に配送の受付作業をしていました

が、突然の頸椎症で両四肢に強いしびれと痛み。これは

アテトーゼ型脳性麻痺の運命病なのではかたがたないです。

当然、仕事ができずに23年で退職しました。

その後は頸椎症の手術や腰の手術を6年間で6度あち

こち切りましたが結果はあまり芳しくありませんでした

ね。

その後は落ち込んだ時期もありましたが、もう一度私な

りの社会貢献がしたいと思いい、いろいろなところに相談に

行きました。幸い自宅の近くに軽度の知的障害者専門の

就労移行支援事業所があり、無理を承知で頼み込んで

入所し3年間勉強して、また朝日放送株式会社という

一流企業を紹介していただき就職にこぎつけました。

そこで10年間働いて60歳で退職しました。私の

人生で2度の就職（社会貢献）は自分自身を誉めてあげ

たいと思います。

最後に私の趣味は、旅行&外出することです。これは

昔も車いす生活になった今も変わりません。旅行にお金

を使うために働いてきた！といつても過言ではございま

せん。

思えばいろんなところに行きましたが、一番の思い出は

阪神百貨店の退職金でピースポートの地球1周の客船旅行を2000年と2002年の2度行ったことです。も

ちろん車いすの一人旅で。でもピースポートは当時若い人

たちもたくさん乗船してましたし、ボランティア精神が

旺盛な人たちの力を借りたり、事前の集会で友達になっ

たりで介助してもらい本当に嬉しかったです。(正直なと

ころ少し心配でしたが無用でした) 寄港地ではオプシヨナ

ルツアーでいろんな体験をしました。私の印象に残って

いることは北欧諸国の身体障害者への配慮、徹底したバリ

アフリー化ですね。貴重な体験(大自然)では世界三大瀑布

を制覇したことや、南極大陸、エジプトのピラミッド、フ

ランスのモンサンミシエルや南部の田園地帯とブドウ畑、

イタリアのシチリア島、マダガスカルのパオバブの林とキ

ツネザル・カメレオンがいる自然公園、南アフリカ喜望峰

のインド洋と大西洋がぶつかり合う圧倒的な迫力、キュー

バヤジャマイカ・コスタリカ・メキシコなどの中米諸国、

ブラジルのリオのカーニバル、アルゼンチンタンゴも見に

行きました。まだまだいっぱいありますがこの辺でやめて

おきます。

このぜんかい屋でもいろんなところに行きたいし参加し

たいと思います。でも今はコロナ騒動の真っ只中なので

我慢我慢ですね。

運 営 委 員 会 レ ポ ー ト

開催日：2021年4月20日(火) 19:00~21:00

場所：ぜんかい屋を 中心にZOOMを利用したりリモート会議

討議内容

①. 活動報告

◎ 教育事業関連

【中学生プロジェクト】

3月の終業式前に、柴島中学校と摂津第二中学校へそれぞれ次年度の実施予定を問い合わせしてみた。いずれも新年度にならないとわからない、コロナ禍であり現時点では学校行事の予定もはっきり言えないという返答であった。こちらからは、長年取り組みを続けてもらっているので状況が許せば、ぜひとも実施してほしい旨を伝えた。両校ともこちらの思いは受け取ってもらえたと感じているが、いかにせんコロナの状況に大きく影響されるのは必至である。引き続き状況を見合わせながら連絡を取り続けようと考えている。

◎ 作業所関連

【ONE TEAM PROJECT～マスクであそぼう～】

毎月、中崎町商店街のなかにある「よろこび相談支援事業所」の前で店頭販売を行った。北区内の日中活動系の事業所がそれぞれに手作りマスクやそれに関連した商品、手作リエコバッグを出品しての即売会となっている。店当番を各事業所が持ち回りで担当している。当番を共同でやるなどしているため、事業所のつながりが少しずつできているようで面白い。ただ、当番に参加できる人数が密回避のため制限させているのが残念である。またマスクもすぐ手に入るようになってきているので

う あ ていたいぎ み きび げんじつ
 売り上げは停滞気味でなかなか厳しいのが現実である。

おに 【鬼コンテスト】

がつ にち げつ にち もく せつぶん くやくしょ くみん ない
 2月15日(月)～25日(木)、節分にちなんで区役所の区民ギャラリー内で、
 かくじぎょうしょ つく おに かん さくひん てんじ おとず ひと き い
 各事業所が作った鬼に関する作品を展示して、訪れた人に気に入ったも
 のにとうひょうをしようという趣向が凝らされていた。

②. ざいせいじょうきょう 財政状況について

けっさんあん 【決算案】

そんえきけいさん けっさんあかじ まんえん ねんどけっさん
 損益計算をみると2019年度決算赤字が610万円であったが、2020年度決算
 げんざい まんえんていど
 は現在のところ80万円程度になっている。ただし、これにはこじんからの
 かりいれきん まんえん ふく
 借入金(240万円)は含まれていない。

あかじはば げんしょう よういん さくねん がつこう りようしゃ めいぶ
 赤字幅が減少した要因としては、昨年11月以降に利用者が3名増えたこ
 とがあげられる。うちわけ しゅういつかりよう めい くぶん しゅうみっかりよう めい くぶん
 内訳は週5日利用1名(区分4)、週3日利用1名(区分
 2)、しゅう にちりよう めい くぶん がつ しゅう にちりよう
 週1日利用1名(区分3)となっている。また4月からは週1日利用
 で1名がかわることになった。

よさんあん 【予算案】

りょうがえや にゆうきょ らいねん がつ と こわ あたら
 良返屋の入居しているビルが来年4月に取り壊し、新しくワンルーム
 マンションとなるため、らいねん がつ たいきょ
 来年3月までに退去しなくてはならないことにな
 った。よさんあん たいきょ そうてい ししゅつ さいだいがく はんえい てんきょ
 予算案には、退去を想定した支出の最大額を反映させ、転居にか
 かるほしょうきん かいそうとう けいひ まんえん よさん けいじょう
 保証金および改装等の経費として、300万円を予算に計上している。

③. そうかい 総会について

やくいん こうたい 【役員交代】

なが おうえん かんじ うんえい かか いわなが
 長らく応援センターの監事として運営に関わっていただいている岩永さ
 んより、たいにん もう て きゅう じじょう うんえいいん つづ
 退任の申し出がありました。急なご事情から運営委員を続ける
 ことがこんなんになってきたので、あら ひと ねが
 新たな人をお願いしますということでした。
 こうにん そうかい しょうにん
 後任については総会で承認させていただきます

ありがとうございました (敬称略)

けいしやうりやく

二〇二二年二月二十八日〜二〇二二年五月二十日

期間内総額 (四二, 〇〇〇円)

購読者会員

米澤 園子

正会員

一瀬 裕之
辻原 彩
津田 智子
村上 晃
中江 浩祐
高長 弘晃

会員カンパ・寄付金

伊東 史恵
福島 義弘

戸田俊二郎

障害者会員

宮園美衛子

與那嶺弘光

紙谷 信義

声援者会員

田中美智子

山元 倫子



WANTED
まず、
参加
ください！とんとん
障害者と応援者・声援者の出会いを
つくろう

誰でも、
どんな形でも…

参加してください。きっと、すばらしい出会いが待っていますよ。

● 障害者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 応援者

年会費 三、〇〇〇円です。

● 声援者 II 「応援センター」の趣

旨に共鳴してくださる方は、活動をバックアップするため毎月一口五〇〇円を末長くご協力ください。できれば二口お願いします。

● 団体声援者 II 各種団体や会社で

「応援センター」に資金援助してくださるグループを求めています。(年間一口三万円。もちろん、何口でも多いほどうれしいです。)

● 一時的カンパ II もちろん大歓迎！

● すたこらさん購読者 II 遠方の方(近くの方も)で応援センターの

活動状況やいろいろな情報を知りたい方は購読者として参加してください。

年会費 二、〇〇〇円です。

グループとして購読して下さる方々も大歓迎。

1月10部発送で年会費

一八、〇〇〇円です。

※ 障害者、応援者、声援者の各会費

に本誌すたこらさん購読料が含まれています。また会費以外で当センター

への寄付金・カンパをいただいたみな

さまに本誌をお届けしています。



もくじ

《KSKすたこらさん 2021(第3535号)》

1. 総会案内	事務局	1
2. 道子でおまつ!!	福島道子	1
3. 良返屋通信	良返屋	2
4. ぜんかい屋 新メンバー紹介	柿本等	4
5. ぜんかい屋 新メンバー紹介	高長弘晃	6
6. 運営委員会レポート	事務局	9
7. ありがとうございます	事務局	11

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月五回(5・10・15・20・25日)発行 定価二百円

編集人 特定非営利活動法人
おおさか行動する障害者応援センター
〒530-0035 大阪市北区同心2丁目2-5
ウツミビル 101
電話 06-6357-5797 FAX 06-7504-6192

発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4階
電話/FAX 06-6763-3338